



# REAR CAMERA HARNESS RCH011N

## リアカメラ入力ハーネス 取付/取扱説明書

日本国内専用

### 適合車種

リーフ ZE0/AZE0 H22.12~H27.10  
(EV専用カーウイングスナビゲーションシステム(地デジ内蔵))

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RCH011Nは、後付リアカメラの取り付けを簡単にするための製品です。

### ご相談窓口

お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)  
【受付時間】月曜日~金曜日 10:00~12:00 / 13:00~17:00  
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

### メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

### 弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

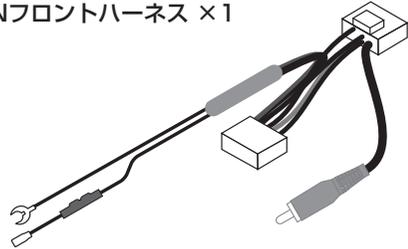
Data System 株式会社 データシステム

■ [本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 <https://www.datasystem.co.jp/>  
■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾、許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

## 内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

### ●RCH011Nフロントハーネス × 1



- オスギボシ端子、スリーブ × 1
- メスギボシ端子、スリーブ × 1
- RCAピン変換コネクタ × 1
- 取付/取扱説明書(本書) × 1

## 注意事項(必ずお読みください)

### 注意事項の定義

ご使用になる前に、この「注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<b>危険</b>	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
<b>注意</b>	守らないと、車両および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
<b>警告</b>	守らないと、法律に違反するおそれがあるもの
<b>重要</b>	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

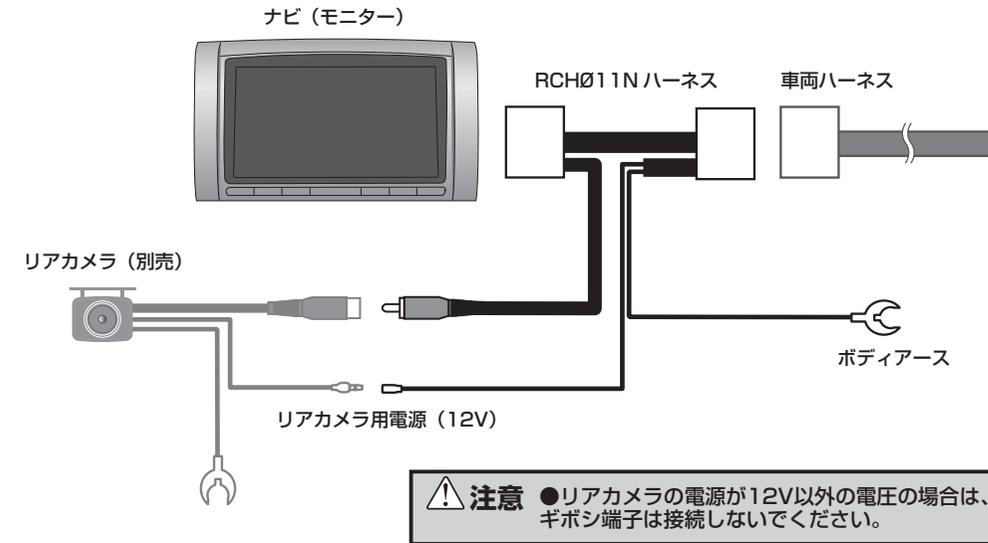
### 注意

- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外して下さい。但し、その場合はラジオや時計等のメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力して下さい。
- テレビモニター及びチューナー等を点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業を行って下さい。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いて下さい。コネクタを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないで下さい。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んで下さい。
- 端子を接続するときは、奥まで確実に差し込んで下さい。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定して下さい。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線等がパネルやシートレール、ペダル等に噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないで下さい。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障等に関する責任は弊社では一切負いません。予めご了承ください。

### 重要

- リアカメラは出力される映像が正像をご用意ください。RCH011Nには映像を反転させる機能はございません。
- ガイド線の調整はカーディーラーにお問い合わせください。

## 接続概要図



## 取り付け方法(概要)

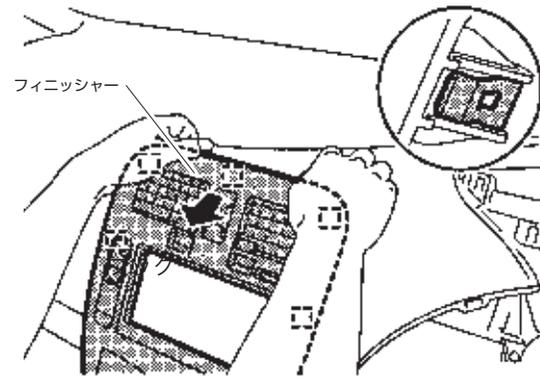
この取付説明では、リアカメラハーネスRCH011Nの取付方法だけを説明しています。リアカメラ(別売)の取り付けについては、それぞれの説明書をお読みになってお取り付けください。リアカメラの電源が12Vの場合、リアカメラのバック電源(バックランプ電源)は、RCH011Nから取得できます。モニターユニットの取り外し方法は、裏面をご覧ください。

1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. 裏面のハーネス取付を参考にRCH011Nハーネスを取り付けます。
3. RCH011NハーネスのRCAピン端子をリアカメラ映像端子と接続します。
4. リアカメラの動作電圧が12Vの場合、RCH011Nの赤線(バックランプ電源)をリアカメラの電源線に接続します。リアカメラの電源が12V以外の場合は、RCH011Nの電源線は使わずリアカメラの説明書にしたがって取り付けてください。
5. RCH011Nハーネスの黒線をボディアースに確実に接続します。
6. モニターを動作できるようにします。
7. バッテリーマイナス端子を接続します。
8. 車のエンジンをかけてモニターを起動させます。
9. シフトレバーを「R(リバース)」にしてナビにリアカメラの映像が映ることを確認します。
10. 裏面の説明を参考に「ナビの時刻合わせ」を行ってください。

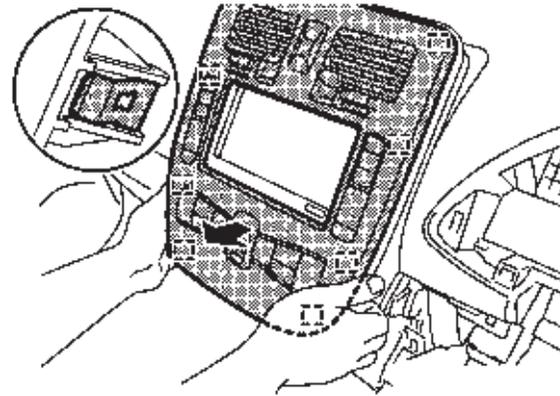
# モニターユニット取り外し

## 1. クラスタリッド クリップ外し

クラスタリッド上部を手前に引き、クリップのかん合を外す。リッドは外さない。

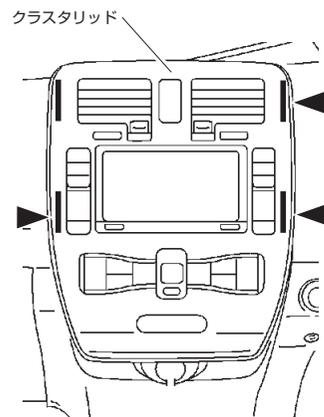


クラスタリッド下部を手前に引き、クリップのかん合を外す。リッドは外さない。



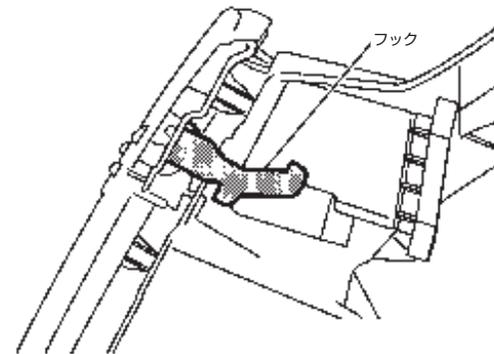
## 2. クラスタリッド取り外し

4本あるフックをかわして、クラスタリッドを取り外す。



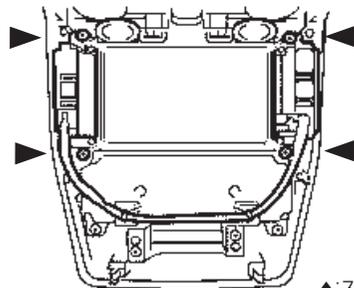
▲:フック位置(4か所)

フック断面図



## 3. モニターユニット取り外し

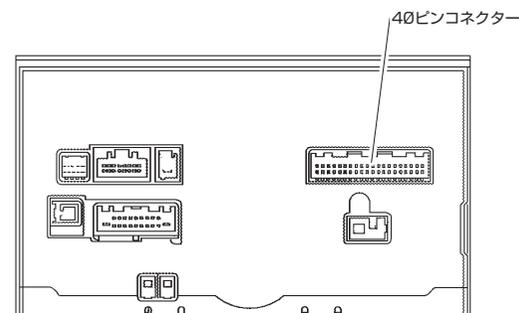
スクリュー(4本)を外し、モニターユニットを取り外す。



▲:スクリュー

## 4. 本製品取付位置 (モニターユニット裏側)

図示のコネクターに接続してください

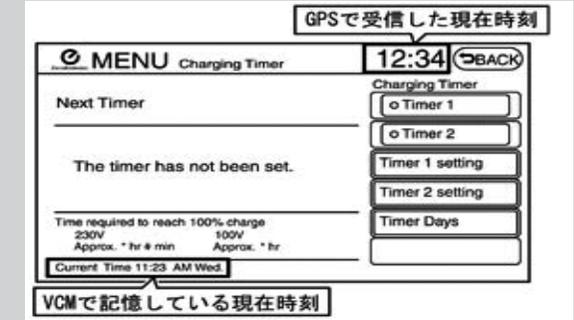


## ⚠ 注意 取り付け後のナビの時刻合わせ

取り付け終了後、必ずナビの時刻合わせを行ってください。行わないとタイマー充電が動作しないことがあります。

- モニター、パネルを戻す。  
バッテリーマイナス端子を接続する。
- GPSの信号を受信できる場所で作業を行う。  
「e Zero Emission」スイッチを押し、メニューでタイマー充電の画面を表示させる。
- タイマー充電画面の右上に出る時刻(GPS時刻)と左下の時刻(VCM時刻)が一致していない場合は、更新画面が表示されるまで1、2分待つ。
- 更新画面が出たら、画面右下の「時刻を修正」を押し、VCM時刻が修正される。
- 右上の「戻る」を押しメニュー画面でGPS時刻とVCM時刻が一致していることを確認する。

メニューのタイマー充電の画面



更新画面

